

令和6年度 第4回 神戸小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和6年 12月 4日(水) 10:30 ～ 11:45

2 場 所 図書室

3 あいさつ(委員長、学校長、支援課)

- ・昨年度はインフルエンザの流行で参観ができなかった。ICTを活用した授業の参観を楽しみにしている。(委員長)
- ・特別支援教育の視点をもって、だれでもわかる授業をすべての学級で行うことを大切にしているので、その視点で参観をしていただきたい。(学校長)
- ・非認知能力の育成については、教師の発言などがヒントとなる。その点についても参観いただきたい。(支援課)

4 議事内容

(1) 本校児童の様子について(授業参観)

- ・6年英語：両手でタイピングをするなど、小学生のうちから大人に必要な技術を身に付けることは大きな意味がある。
- ・ICT活用：先生たちもICTを使いこなしていることから、先生たちも頑張っている、努力している様子が伺える。
- ・3年国語：辞書とICTの併用がよかった。
- ・それぞれの学習で多種多様な活動が行われていた。
- ・国際や特別支援など、どの教室にも子どもの居場所がある(机がある)ことが良い。
- ・神戸小は規模も大きいので、じっくり見てみたい授業もあったが一カ所にとどまって参観することが難しかった。

(2) 学校運営協議会委員の皆様からの本校教育活動へのご指導・ご助言

- ・教室の環境について、照明が暗い。学習に支障があるのではないかな。
- ・非認知能力、達成感、自己肯定感などの育成の必要性は理解した。今後どのような課題があり、地域でどんなことができるのかを協議会で考えていきたい。
- ・普段から自分の思いや考えを持ち、発言できる子どもの育成を目指してほしい。意見を言えるような機会や、知識を得るために図書室の活用など様々な活動で子どもたちに経験をさせてほしい。

5 その他

- ・「学校運営協議会には議事録が必要ではないか」とのご意見について、教育支援課で確認する。